

会 議 録

会 議 の 名 称	平成２２年度 第２回地域協議会
開 催 日 時	平成２２年１１月１１日 午後１時３０分から
開 催 場 所	福祉会館２階「大会議室」
出 席 者 氏 名	<p>委員（１７名）</p> <p>小沼文夫、佐藤允尚、佐藤洋一、正木正、佐藤公、土田克夫、土田長夫、土田典子、原田浩司、茂木保、茂木美寶子、岸田良子、小番けい子、佐藤孝義、佐藤久美、佐藤嘉孝、豊島一郎</p> <p>由利本荘市（１０名）</p> <p>（矢島総合支所）</p> <p>総合支所長 植村清一、主幹兼振興課長 土田武弥</p> <p>市民福祉課主席参事 高橋 建、産業課長 泉谷健一</p> <p>建設課長 工藤一男、矢島教育学習課長 佐藤勝一</p> <p>（事務局・・・振興課）</p> <p>参事 三浦芳春、主席主査 三浦浩喜、主査 三浦利彦、主任 佐々木有希子</p>
欠 席 者 氏 名	<p>五十嵐徳、佐藤政一、土田稔、大井仁史、小番より子、佐々木知栄</p> <p>佐藤系悦、佐藤伸一、茂木昭二郎、伊豆秀一、佐藤寿美子、菅原賢一</p> <p>蒲田則夫 以上１３名</p>
<p>会議次第</p> <ol style="list-style-type: none"> １．開会 ２．会長あいさつ ３．総合支所長あいさつ ４．協議 <ul style="list-style-type: none"> 地域づくり推進事業について その他 ５．その他 ６．閉会 	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

平成 22 年度 第 2 回地域協議会

1. 開 会 13:30 ~ (進行: 振興課長)

振興課長

2. 会長あいさつ (正木会長)

正木会長

お忙しい中ご参集いただきありがとうございます。第 1 回目の地域協議会が 6 月 16 日に行われており、その会では過疎地域自立促進市町村計画についての説明を受けております。その後、1 月 21 日に地域協議会の幹事会を開催しております。地域づくり推進事業の 22 年度の実施状況並びに要綱の改正があるということで、その説明がありました。それから、23 年度の事業要望についての調整なども協議を行っております。それに基づいて今日ご協議いただくわけですが、この地域協議会につきましては、私も鳥海山ろく線関係と二足のわらじを履いておりますが、皆様の費用弁償を由利高原鉄道の特種回数乗車券に代えさせていただき、御礼を申し上げます。このような皆様の温かい心づかいが、地域の足を守る糧となりますので、今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。由利高原鉄道の大井社長さんからも、皆様によりよくお伝えくださいと伝言を承っております。それでは暫時の間、ご協議をよろしくお願いします。

3. 総合支所長あいさつ (矢島総合支所長 植村清一)

植村総合支所長

今日は第 2 回目の地域協議会にご足労いただき、誠にありがとうございます。また、皆様方からは日頃から矢島地域の行政全般に渡りまして、ご指導とご協力を賜っていることに対し、心から感謝申し上げます。昨日、今年の米について農林水産部長とお話ししましたが、秋田県中央部の作況指数が 90 だそうです。由利本荘市のその内の一等米比率が 85% ということで、かなり悩んでおりましたが、いずれ今後、それに対する支援策を講じていかなければならないというお話がありました。さて、今年の矢島地域の行政の状況ですが、春先からの菜の花まつりや、矢島ひな街道等、いろいろなイベントを開催してまいりましたが、それらも無事完了しておりますし、スキー場のレストハウスも今年から新しくなり、それも完了し、いよいよ冬に向けての備えの時期になっております。今日由利本荘市全体の除雪の安全祈願祭が行われましたが、矢島地域においても、オペレータの確保、除雪機械の整備等は完了しております。冬季交通確保に向けて、万全を期してまいりたいと考えているところです。ただ、矢島地域におきましては、高齢者の世帯が増加しておりますし、空き家も目立っております。そろそろ道路ばかりではなく、除雪体制を再構築していかなければならないのかなと考えているところです。この点についても、今後いろいろな機会に皆様方からご意見をいただきたいと思います。今日の案件は、地域づくり推進事業についてですが、今年度の実施状況を検証していただきながら、この地域が活性化されますよう、来年度に向けてよりよい事業のご協議をお願い申し上げまして、簡単ですが挨拶に代えさせていただきます。

4. 協議

正木会長

ただ今から協議に入りたいと思います。地域づくり推進事業につきまして、22 年度の実施状況、要綱改正、23 年度の事業要望について、一括して説明を行い、後程協議をしたいと思っております。事務局ご説明をお願いします。

地域づくり推進事業について（振興課主査 三浦利彦）
資料に基づき説明

【資料１】平成２２年度地域づくり推進事業費補助金実施状況調書

２２年度の事業は今のところ順調に実施できております。現在１１事業の内、９事業において申請いただき、その内８事業は事業も完了しております。「矢島ひなめぐり」については３月の実施ということで、申請はいただいており、今後の実施となります。

やしま夏まつり...実施済（花火のグレードアップ）

矢島ひなめぐり...３月実施予定

鳥海山ろく線を利用した地域交流事業...実施済（沿線にこいのぼりを設置）

友好都市との交流...実施済（丸亀との交流／矢島茶会）

八朔祭り...実施済（花火のグレードアップ）

鳥海高原（桃野）菜の花まつり...実施済（鳥海高原の魅力を県内外にアピール）

駅前花壇の整備...実施済（５，０００株の花を植え整備）

鮎関係事業...実施済（釣りキチ三平作者：矢口高雄先生を招いての矢口杯実施等）

高原鉄道利用促進と地球温暖化防止推進活動...実施未定

鳥海高原矢島スキー場で雪遊び...２月実施予定

矢島見どころ案内人...実施済（案内人ベスト・拡声器購入）

【資料２】地域づくり推進事業補助金交付要綱の主な改正点

改正理由として、今年度の地域づくり推進事業は地域協議会委員の皆様からの事業提案で進めてまいりましたが、来年度以降の事業につきましては、広く市民団体からも募集を行い、より一層の地域の活性化につなげるために改正を行うものです。

・主な改正内容

（１）事業募集方法の変更

地域協議会からの提案だったが、広報及び市ホームページ等を活用し広く公募し、多くの市民団体から提案いただく

（来年度事業については２２年９月末まで募集・提案済）

（２）補助金上限額及び補助率の設定

補助金上限額を設けていなかったが、上限額を５０万円に設定

補助対象経費の１０分の９以内とする

国又は県の補助事業等の適用を受けている場合は、補助対象事業費から当該補助金額を控除して得た額に１０分の９を乗じて得た額以内とする

（３）その他要綱以外での「地域づくり推進事業」の改正点

地域づくり推進事業の対象外事業

市が直接行う事業

市が別に直接補助金を交付している事業

事業内容が、旅費・工事費・委託料のみの事業

既存事業のグレードアップの定義

グレードアップとは、既存事業の内容において、グレードアップされる内容が明確であることとする

また、由利本荘市地域づくり推進事業補助金交付要綱改正新旧対照表にありますとおり、第５条に、今まで掲載されていなかった“市長は、申請のあった事業内容を審査するとともに、補助金の交付等について、地域協議会の意見を聴き、補助金の交付の可否を決定するものとする”という条項が加わっております。今まで地域協議会において最終決定まで行うということ

でしたが、第5条が追加され、地域協議会のご意見を最大限尊重した上で、最終の可否については、市長が行うこととなります。この部分が明確に掲載されておりませんでしたので、今回追加されたものであります。

【資料3】平成23年度地域づくり推進事業にかかる事業要望一覧

先程要綱改正でも触れたとおり、一般の方々からも事業をご提案いただくということで、9月末まで募集をしました。9月末まではなかなか数が集まらなかったのですが、昨年度実施団体等にも声をかけて、継続事業も含めて確認をしました。

新規

鳥海山スノーサーフイベント...鳥海山の豊富な春雪と、起伏に富んだ地形での
スノーサーフィンの魅力を伝える

根城館プロジェクト 歴史の矢島町の再現と社会教育

...歴史を再現することで地域の一体感を醸成する

継続

矢島ひなめぐり

鳥海山ろく線にこいのぼりを泳がす！

八朔祭り

鳥海高原菜の花まつり

子吉川の鮎に関する事業

矢島駅前花壇を華やかに

丸亀市文化交流観光事業

矢島茶会10周年記念事業

鳥海高原矢島スキー場クロスイベント・・・ 会議当日取り下げ

【資料4】平成23年度地域づくり推進事業要望書（写）

【スケジュール（案）】

9月末実まで		（事業要望書の提出）
10月21日	第2回幹事会	（要望書とりまとめ）
11月11日	第2回地域協議会	（事業要望の提案及び審議）
12月上旬	第3回幹事会	（要望額の枠内調整）
1月中旬	第3回地域協議会	（事業の最終決定）
4月～		（事業実施）

正木会長

要望された事業の関係者も委員となっておられますので、加える説明がありましたら説明していただきながらご協議したいと思いますので、よろしくお願いします。

A委員

ただ今事務局から説明がありましたが、22年度で実行できなかった、高原鉄道利用促進と地球温暖化防止推進活動についてです。由利高原鉄道25周年記念事業に向けまして、実行すべく由利高原鉄道と協議をして進めてきたのですが、社長初め会社は積極的だったのですが、列車を製造しているメーカーにて、この事業において責任を持てないというような回答がありまして、実行できませんでした。新聞等でも掲載されており、第3セクターでBDF100%で運営しているところもありますが、由利高原鉄道の列車を製造している会社では、某メーカーの某燃料で

なくてはこの列車は走りません、という回答でした。製造メーカーがいいと言わないのに、実行して故障したりすると、非常に高い列車ですのでどうにもできないということで、今のところ断念しております。実際他にはBDF100%で走っている列車もありますので、今後列車更新という計画もあるようですが、そういった時には汎用性のある列車を購入して、少しでも安く走れるような運営をしていていただきたいと思っております。まだまだこの事業につきまして諦めたわけではございませんので、皆様のご協力を得ながら、少しでも話題性と誘客に努められればなと思っております。ただ皆様から承認いただき、予算をつけていただいたのに、今年度は断念せざるを得ないということにお詫びを申し上げます。

正木会長

この事業につきましては、A委員初め、もっと詰めて実現できるような努力をお願いしたいと思います。他にございませんか。

B委員

22年度地域づくり推進事業の「鳥海高原矢島スキー場で雪遊び」について、この事業をやりたいということで実行委員長をさせていただいております。まだ実施はしていないのですが、現段階で少しだけご報告させていただきます。現在、バンクーバーオリンピックで日本代表だった滝沢宏臣選手と交渉しておりまして、来年3月5日、6日に来ていただけるということになりました。この補助でいただいた予算30万円を使って、滝沢選手を呼ぼうということにしております。その他ナショナルチームの選手を1名と、昨年度のレースのヨーロッパカップですとか、日本のレース等に出場した選手を2名、合わせて4名の来場を依頼して了解をいただいているところです。まずその方々に、矢島の子供たちを中心に秋田県全域の子供たちを対象とした、スキー教室を開催しようと計画を練っております。そのスキー教室を3月5日に行い、6日にはクロスの大会を行う予定です。クロスと言うとわかりづらいかもしれませんが、スキークロスという競技がありまして、4人一斉にスタートを出て一番先にゴールに着いた人が勝ちという、単純ながら接触もあり、ちょっと危ないという意見もありますが、子供から大人まで楽しくやれると思います。矢島スキー場には秋田県で唯一クロスコースというコースが設置されておりまして、それが矢島スキー場の目玉として、お客さんに喜んでいただけるひとつのコースだと思っております。現在、来年3月に向けて計画を練り、スタッフ共々案を練っているところで、来季23年度にも申請させていただいたのですが、来季の件については、白紙にさせていただきたいと思っております。と言いますのも、今回はうまく実行できそうなのですが、来年度のことを全く見えていない状況です。途中で投げ出すこともできませんので、今のうちに来年度の申請を白紙にさせていただきたいと思っております。そして他にたくさんいい事業があるかと思っておりますので、そちらに回していただきますよう、よろしくお願いします。

正木会長

B委員から22年度の事業について、計画を練っているところだというご報告がありました。ぜひトップスキーヤーとの交流の場を作りながら、活性化を図っていただきたいと思っております。ただ、申請のあった23年度の事業については、先が見えてこないということで、白紙にしたいということでした。

B委員

これからも活動はしていきたいですし、今回の22年度の事業は成功に導ければと思っております。今後については、22年度の実施した反応を見てから判断をしたいと考えております。

正木会長

まずは22年度の事業を成功に導くことに集中したいというご意見ですので、その部分については尊重したいと思います。

C委員

23年度の事業についてです。生駒顕彰会事業について、少し訂正させていただきます。「生駒顕彰会10周年」ではなく、矢島茶会が10回を迎えるということであります。かつて合併前は矢島茶会が矢島町で行われていた事業でありますが、なくなると寂しくなるのでどこかが中心となって行ってほしいという声があり、生駒顕彰会で継続しているものであります。今年についての報告ですが、日曜日に茶会を行い、月曜日に「邦楽への誘い」ということで、中高連携校で公演を提供しております。来年23年度は保育園児を対象に行いたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。

正木会長

平成23年度の地域づくり推進事業の要望書ということで、資料4がありますが、こちらによる事業の内容等が載っておりますので、照らし合わせながらご協議願いたいと思います。

D委員

タイムスケジュール案の中で、今日が提案及び審議と書いてありますが、一番重要なこの提案内容について説明がなければ、何を審議するのだろうということになるのかなと。幹事会の中では十分審議されて、要綱には見合うということで挙がったのだと思うのですが。今日提示された事業を一つ一つ、良い悪いと協議するのか、そのあたりがわからないということです。お願いになります。地域協議会の中でもこの地域づくり推進事業の決定というのが、非常に大きな役割のようになっておりますので、ぜひ資料については事前にお配りいただければと思います。それと1月中旬に事業の最終決定というスケジュールですが、先程の説明からすると、この地域協議会の協議をもって市長が決定するというようになっておりますので、地域協議会においては事業の最終決定はできないという解釈でよろしいでしょうか。また、要望書に挙がっている事業も皆様の思いがあつての事業だと思しますので、できれば決定されて事業執行となればいいなというふうには思えるのですが、駅前花壇について、私の感覚からすれば駅前広場があるので、言い方が悪いですが花壇は奥の方というイメージがあるので、駅前広場の利活用ということも含めて、駅前周辺の道路沿いも、花壇仕様にはなっていないと思いますが、プランターに植える等、整備していただければなと思います。

正木会長

確かに資料を今日お配りして今日審議は難しい、という部分については、事前に把握いただくための事前配布が必要だったと思います。いずれ今回の23年度事業として提案されたものも、継続的なものが大方だという認識の下に、それに付け加えて更なるグレードアップを図るという意味合いから、当日配布ということにさせていただいておりますが、その点につきましては今後十分ご配慮したいと思いますので、ご理解をお願いします。

D委員

「根城館プロジェクト 歴史の矢島町の再現と社会教育」についてご説明いただけますか。

事務局

説明に入る前に、資料の事前配布につきまして、当方の手落ちで大変申し訳なく思っております。

す。以後、事前配布すべき資料については、1週間ないしは2週間前くらいには提示したいと思っていますのでご了承くださいますようお願いいたします。それと要綱改正の中での、第5条、市長が最終決定を行うという部分ですが、要綱の新旧対照表をご覧いただければわかるのですが、補助金の交付決定等についての条項が今までなかったということで、この地域協議会のあり方については今までと変わりませんが、最終的に予算をつけるのは市長になるということです。「根城館プロジェクト 歴史の矢島町の再現と社会教育」についてですが、詳しい事業内容については各事業主体からの提案書として、資料4のとおり写しをお配りしております。各事業主体から個別にヒアリングを受けて今回提案したものではありませんので、詳しい内容は把握していない部分もあります。根城館の八幡神社周辺が荒れている状態にあったのですが、NPO矢島フォーラムの活動で、21年度からさくらの苗木を植え、その管理も含めて歴史ある根城館の在り方を模索していこうという内容です。資料の実施計画にもありますが、23年度については、植樹した現地の整備や管理、学校生徒によるチャレンジワーク等のイベントを開催したいということでありました。

D 委員

基本的にはよいのですが、ただ手続き的には予算案が計上されていなかったもので、疑問に思いました。思いを受けて要望が挙がったということなので、ぜひ幹事会の中では予算立てもしっかり精査しながら予算の割り振りの判断をしていただいて、翌年1月の最終の地域協議会で提案いただければと思います。事業費トータルでは計上されているのですが、補助金を何に使うのかというあたりが現状ではちょっと不明確ですので、精査をしていただいて判断をお願いいたします。

正木会長

D委員からのご意見のとおり、さっそくこの協議会が終わり次第に提案者にその旨を伝えて、予算措置をしていただけるようにいたします。他にございませんか。

事務局

地域づくり推進事業決定までのスケジュールについてです。確かに事前に資料も配布しておりませんし、スケジュール的には詰めて設定をしておりますが、今回の地域協議会は2回目ですが、年度内に4回以上の開催を予定しておりますので、まだ時間はあります。3回目の協議会で再度内容について審議いただき、4回目で最終決定という運びも考えられると思います。先程B委員からありました、クロスイベントは23年度申請しないということになりますと、実質30万円程の空きが出ます。その部分の対応についても、協議しなくてはならないと思われますので、そのあたりは柔軟にスケジュールを対応させていただきますのでよろしくお願いします。

B 委員

もう一つ、新規事業のスノーサーフイベントについてお話をさせてください。スノーサーフィンというのはあまり馴染みのない言葉だと思います。この事業も皆さんにこれを知っていただく良い機会だと思いお話をさせていただきます。スノーボードにしてもスキーにしても、色々な形状のものが出来上がってきております。スキーに関しては皆さん熟知されているかと思いますが、現在スキー場にいますと、スノーボードの板の発展がすさまじいものがあります。雪の上で本当にサーフボードをしているような、海の上でしているような姿に見えます。ゴールデンウィーク期間中の春山は、菰川の駐車場が満車になる程のお客さんがいます。そこにこういったイベントが一つ二つあると、また鳥海山の認知度も上がるのではないかと思います。この鳥海山の大自然を利用した新しいスポーツである、スノーサーフィンといったものを考えていけるのは素晴らしいことだと思います。ぜひこれは満額予算措置していただけることを願います。

正木会長

貴重なご意見ありがとうございました。

事務局

B 委員からの補足説明ありがとうございました。ご説明いただいたとおり、鳥海山の春山シーズンは車も入りきらない程で、それ程の魅力がある山をもっと多くの人に知ってもらいたいということでのご提案でした。イベントも去ることながら、イベントの結果レポートとしてスノーボードの全国紙に内容を掲載して、より広く鳥海山を知っていただくような取り組みをしたいとのことでした。さらにそのイベントの中で、地元食材を使ったきりたんぽ鍋も提供し、地元食材も売り込んでいきたいということでしたので、補足いたします。

正木会長

他にございませんか。

E 委員

観光協会ですが、今年度の5月に、地域づくり推進事業として採択いただき、丸亀に行って参りました。ちょうど連休の時に丸亀お城まつりというものがありまして、2日間で30万人程が見えるまつりだそうです。それに、こちらの方からはあきたこまち・由利牛のカレー・ジャージーヨーグルト・やさい王国の漬物等々を持って行きました。来年度もこちらの商品も紹介しながら人との交流も図り、2月の蔵開き・冬まつりの時には、向こうから観光大使も来ていただけることになりましたので、継続していきたいと思っておりますのでよろしく願います。あと一つ質問ですが、旅費は総事業費の何%じゃなくてはいけないといった規定はあるのでしょうか。例えば30万円の補助金をいただいて、その内の旅費は何%までじゃないとだめというような規定です。要綱を見ると100%旅費というのはだめといった要綱はありますが、具体的にどこまでとは書いてありません。が、市で決まっているようなことがあればと思いお聞きします。

振興課長

100%でないのであれば、基本的に大丈夫なものと思われれます。

E 委員

物販と言いましても、試食の部分もかなり含まれますので、売って儲けるといったことではなく、旅費の負担が大きくなります。そのために、規定についてお聞きしました。

正木会長

今のE委員からのご質問については、今後続くことですので、はっきりとさせたいところと思います。

事務局

要綱の主な改正点の中でもありますとおり、対象外事業として、率の定めはありませんが、事業内容が、旅費・工事費・委託料のみの事業と明記されております。

正木会長

他にご意見はございませんか。

F 委員

E 委員からお話しいただいた丸亀市文化交流観光事業計画についてです。派遣人数を減らした分シルバーに人夫を依頼する、ということですが、航空運賃等の割引者を同行するということですか。

E 委員

それは違います。丸亀でシルバー人材に依頼するということです。現地のシルバー人材に依頼すれば旅費もかからないのでそうしました。

正木会長

他にございませんか。

事務局

B 委員、クロスイベントの申請は取り消しということでしたが、今年度の事業の様子を見てということになりますと、23年度の事業も決定しなくてはいけない関係上、今一度取り消すと、23年度は事業を実施できないと思われませんが、そのあたりはいかがでしょうか。

B 委員

それは了解しております。

正木会長

では23年度につきましては、クロスイベントは取り消しということによろしいですか。

B 委員

はい。

正木会長

いずれ今年度のイベントの成功を大いに期待しておりますので、よろしくお願いします。他にございませんか。

A 委員

菜の花まつりについて、皆さんにお願い申し上げたいと思います。今年度2日間で9千人という多くの皆さんに来ていただきました。初めての開催で、3千人程度かなと予測しておりましたが、天気にも恵まれたことと、テレビや新聞等で報道いただいたということから、9千人を超える方々にいらしていただきました。来年度も実施すべく今準備を進めており、第1回の実行委員会を開催してございます。今年度色々なアンケートを取り、ぜひ続けてもらいたいというような要望もありましたし、多方面から活性化に努めていただきたいというお話がありましたので、来年度も実施しようと進めております。来年度は、今年度の反省を踏まえまして、出店を内部に持っていこうということで、お客さんが長時間ゆっくりしていただけるような方法を検討しております。来年度は約2万人の集客があるのではないかと考えております。この集客の数字の出し方については、我々は素人ですが、大学の先生方が統計をとっておりますし、そういったことからこの数字を出しております。そのように人数が増えますと、色々な面で制約もありますし、人的なものも必要となってきます。今年度は色々な方々のボランティアを得ながら、実施しております。ぜひ来年度は地元を紹介していくイベントだということを踏まえて、地元矢島の方々も商工会も含めて参加していただきたいと考えております。由利地域と矢島地域のJAさんも積極的に

協力していただいておりますので、農家の方々にもご参加をお願いしたいと思います。

支所長

「鳥海高原」となれば、市全体のことで、由利地域も関わっていることだと思います。このあたりの補助金の取り方は、矢島地域だけではなく由利地域にもお願いした方がいいのではないのでしょうか。

A 委員

私どもの考えとしては、どこということではなく矢島地域が良くなれば由利地域も良くなり、由利地域が良くなれば矢島地域も良くなると思っております。それと今パンフレットを作ろうとしているのですが、由利高原鉄道こいのぼり列車が5月にありますので、それに続けて菜の花まつりも開催されますと、ポスター等の中にはそういったことも入れたいと思います。

振興課長

いわゆる広域的イベント等について、良い悪いということではなく、他地域への申請ということが以前にも話題になったことがありました。せっかくの補助金ですので、地域に合った事業で、ということを言われたような経緯もありました。

正木会長

先日の幹事会で、やはりただ今支所長がお話ししたようなことが話題になりました。「鳥海高原」とすれば由利地域も参加エリアとして、ご協力いただければというご意見もありました。由利地域の関わりはどのようになっていますか。

A 委員

由利地域・矢島地域共に支所の産業課が入っております。例えば私が実行委員会として、由利地域に申請してもよいものかよく分からなかったのですが、そのあたりを教えてください。

事務局

先日の幹事会でそのようなお話がありましたので、由利振興課に問い合わせましたところですが、先程A委員からもありましたとおり、由利地域から菜の花まつりに参加している方がいないということと等々、打診はしたのですが現時点で反応はあまり芳しくなく矢島地域のみでの提案としております。

正木会長

他にございませんか。来年度事業としてはクロスイベントの部分が空くわけですので、いずれ今後、今日のご意見を踏まえながら幹事会等で検討を加えながら、皆様の協議におかけしたいと思います。

B 委員

皆様にはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。今年度の3月の事業に関しては、全力を注いで頑張っていきますのでよろしくお願いします。

正木会長

他にご提案等ございませんか。今日提示しました来年度事業につきまして、再度幹事会で協議をして、3回目の地域協議会で皆様にご相談を申し上げたいと思います。今後のスケジュールに

ついては、若干前後する場面があるかと思しますので、ご了承くださいますようお願いします。

F 委員

スキークラブ 80 周年式典の際のお話を聞かせていただけますか。

正木会長

先日、スキークラブ 80 周年式典の際に、県のスキークラブの会長から祝電が届いたということだったのですが、土日であったということと、事務局では休日でしたので関係者がいないということで、受け取れず郵便局に差し戻されたという話の関係者からありました。いずれ一般市民の方々もそれぞれの催し物については、慶弔関係も含めて利用するわけですので、非常に良くないことなのではないかと感じ取りました。そのあたりのシステムはどうなっているのか、現時点での状況をご説明願えませんか。

教育学習課長

私も 80 周年式典に出席しました。まず当日のお話ですが、差し戻したということではございません。郵便局の方で日新館に届けていないということです。それはどういうことかと言いますと、今回の式典に関わらずですが、休日については職員がいまませんので、郵便物については配達しないでくださいという形で、郵便局にお願いしているということです。その結果、郵便局に止まったままで、配達されなかったということが事実でございます。その後、そのお話を伺いましたので、今後そういった際に日新館を利用されるという場合においては、利用申請の段階で利用者に対し、郵便局に連絡していただくか、こちらで連絡するという対応を図っていきたいと考えております。

正木会長

今回そういった事態があったということで、反省を踏まえて、対応していきたいということで、了解したいと思います。色々な場面があるかと思しますので、主催者側に不都合にならないように対応をよろしくお願いします。ご協議ありがとうございました。それでは今日の地域協議会を終了します。お疲れ様でした。

6 . 閉会 (1 5 : 1 5)